

第3次くろいし男女共同参画推進プランの進捗状況について

1 くろいし男女共同参画推進プランとは（令和2年度～令和7年度）

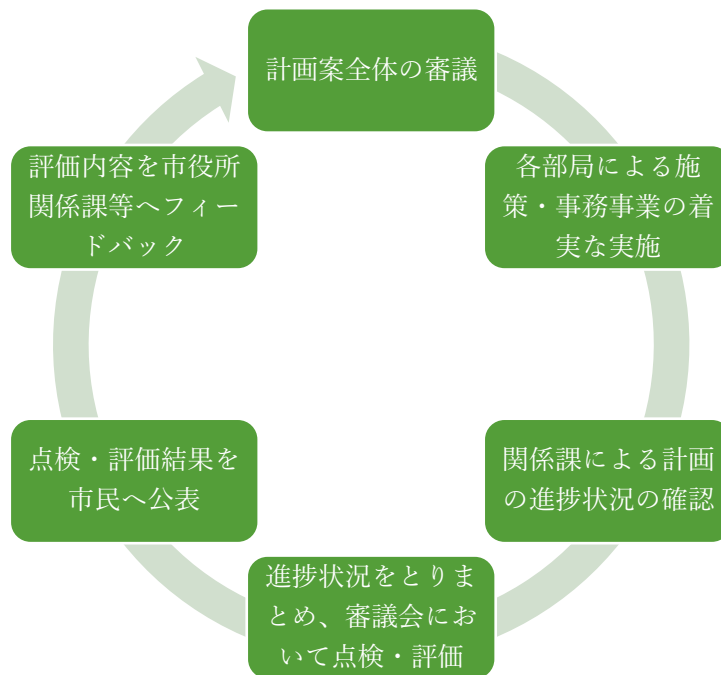
（1）基本理念

お互いの個性を認め合い、いきいきと暮らしていけるまち くろいし

（2）計画の体系

別紙参照

（3）計画の進行管理



2 進捗状況調査目的及び調査項目

（1）目的

推進プランに示した各事業について進捗状況を調査し、計画の着実な推進を図ること

（2）調査項目

- ①各事業についての令和5年度の実施結果と評価、令和6年度以降の改善点について
- ②事業の取組に対し具体的数値を示した「目標となる指標」

3 令和5年度実施状況と実施効果

各事業の詳細は「第3次くろいし男女共同参画推進プラン」進捗状況調査票をご覧ください。

第3次くろいし男女共同参画推進プランの進捗状況について

(1) 事業実施状況

令和5年度は全123事業のうち、121事業が継続、2事業が未実施となり、廃止になった事業はありませんでした。

全事業数	継続	未実施	廃止
123	121	2	0

①未実施事業

- ・女性リーダー養成のための講座・研修会の充実

女性リーダー養成に特化した市独自の講座・研修会の実施はないが、県が「あおもりウィメンズアカデミー」や「働く女性リーダーコース」を実施しているため、それらについて、ポスターやパンフレットでの周知を行った。

⇒令和6年度は国、県、その他機関でおこなっているリーダー養成講座についての周知を行うとともに、女性リーダー養成につながる講座の実施を検討する。

- ・高齢者・障がい者にやさしい道路環境の整備

誰もが安全・安心に暮らせるまちとなるよう、住宅・生活環境・交通網の整備など、ユニバーサルデザイン化に努めていく。

⇒今後も地域包括支援センターや土木課と連携しながら継続して実施する。

②廃止事業

なし

(2) 事業実施効果

事業評価は、各担当課に「A:十分に達成され、成果が大きかった」「B:概ね達成して、成果があった」「C:取り組んでいるが成果が十分でない」「D:取組が不十分であり、成果がなかった」「E:取組を行わなかった」の5段階で評価してもらい、その具体的内容を記載してもらいました。

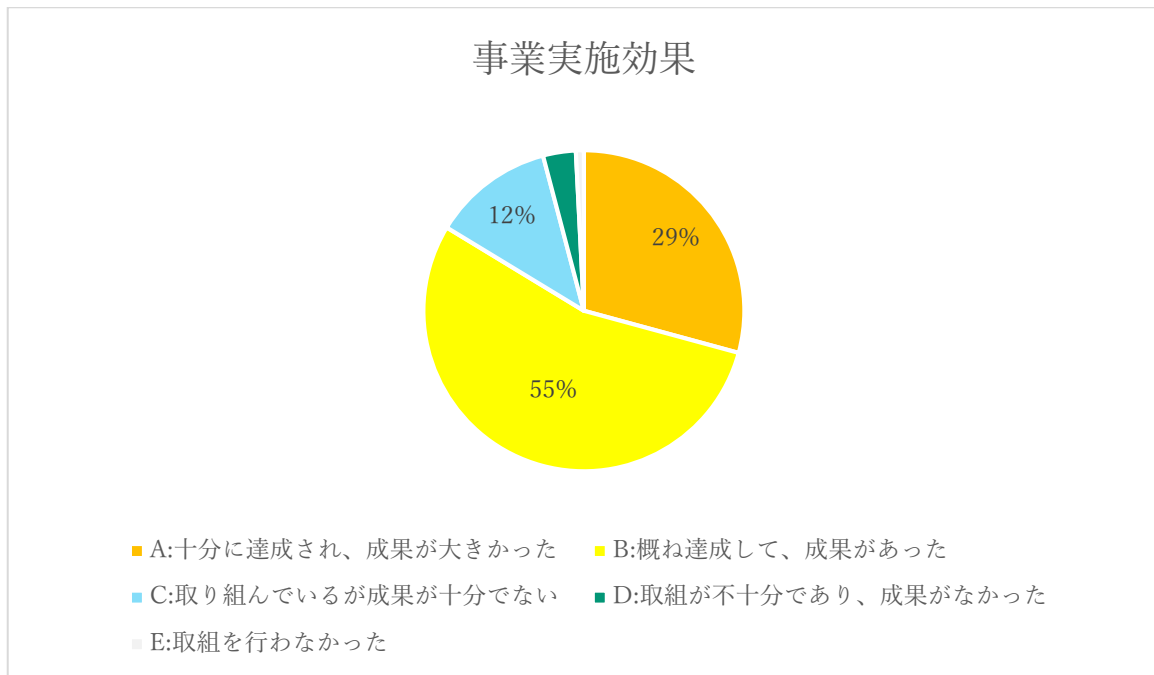
成果があった事業（AとB）は全事業の84%であり、一方、成果が十分でなかった事業（CとD）は全事業の15%にとどまりました。事業を行った場合、大抵の事業で「成果があった」とされており、効果があったといえます。

「C:取り組んでいるが成果が十分ではない」と回答された事業は、啓発活動に関するものが多く、そもそも成果がわかりにくいということもありますが、今後いかに効果的に市民に意識啓発していくかが全体の課題の1つとなっております。

第3次くろいし男女共同参画推進プランの進捗状況について

令和5年度事業実施効果

事業実施について	事業数	割合
A:十分に達成され、成果が大きかった	36	29%
B:概ね達成して、成果があった	67	55%
C:取り組んでいるが成果が十分でない	15	12%
D:取組が不十分であり、成果がなかった	4	3%
E:取組を行わなかった	1	1%
合計	123	100%



4 「目標となる指標」調査

詳細は「第3次くろいし男女共同推進プラン指標調査票」をご覧ください。令和5年度は事業の半数が目標値達成または上昇しました。計画策定時より数値が低下した事業10のうち6の事業は、計画策定時の数値よりは低下していますが、昨年度の数値と比較すると上昇しており目標達成に近づいているといえます。

目標値に対する進捗状況	施策・事業数	割合
目標値達成（目標値を達成し継続中も含む）	8	31%
計画策定時より上昇した（目標値は未達成）	7	27%
計画策定時と変わらない	1	4%
計画策定時より低下した	10	38%
合計	26	100%